

3. 住民アンケート調査結果について

- ▶ 幅広い世代の意見を計画に反映するため、**町民**のほか、**高校生を対象**にしたアンケート調査を実施

町民アンケート調査の概要

無作為抽出した町民を対象に、設問に対する町全体の意向を把握
（年齢や居住地別にクロス集計を実施）

【対象】 18歳以上（3,000人）

【内容】 町のイメージ、満足度、課題、今後のまちづくりの進め方 など
※総合計画のアンケートと同時に実施

高校生アンケート調査の概要

20年後のまちづくりにおいて中心的な存在となる高校生を対象に、
町に対するニーズや将来の理想像等を把握

【対象】 上浮穴高校 1～3年生（136人）

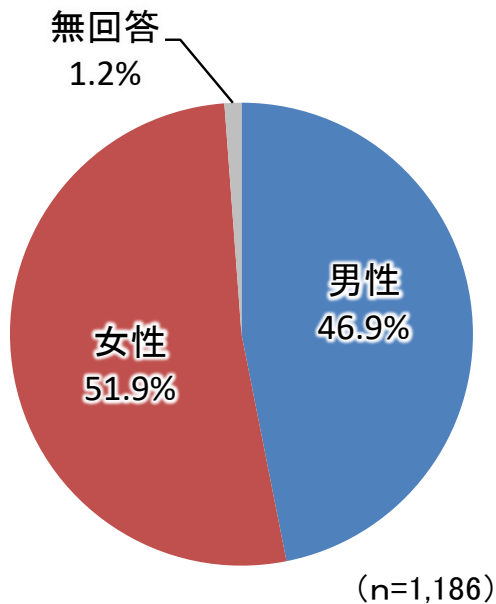
【内容】 卒業後の進路、将来住みたい場所、久万高原町で住みたい地域・
必要な施設 など

▶ 町民アンケート調査の概要は以下のとおり

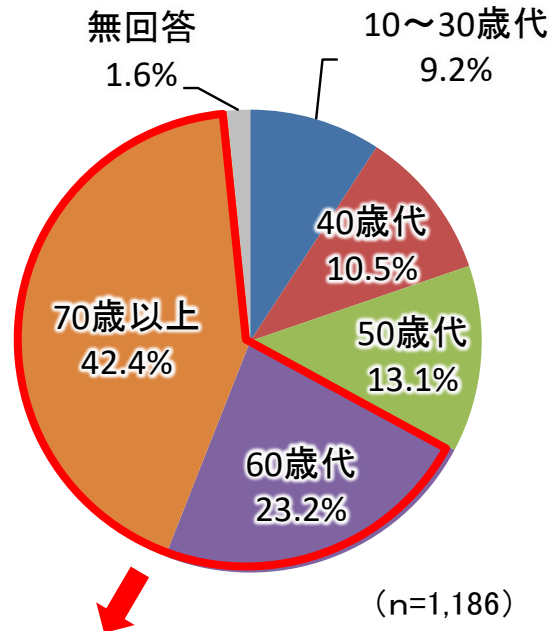
調査目的	生活環境に対する満足度や土地利用上の問題点など、町民の住みやすさに対する問題意識、まちづくりの方向に対する意向等を把握する
調査対象	18歳以上の町民3,000世帯（無作為抽出）
調査方法	調査票への記入方式／郵送による配布・回収
調査期間	令和2年5月25日（月）～6月26日（金）
設問	<ul style="list-style-type: none">・ 基本属性（問1～問3）・ 町のイメージについて（問4～問5）・ 地域の活動への参加について（問6）・ 町の現状の満足度について（問7～8）・ お住まいについて（問9～20）・ 産業振興について（問21～23）・ 生活環境について（問24～28）・ まちづくりについて（問29～32）・ 久万高原町の今後について（問33）・ 自由意見（問34～35） <p>総合計画のアンケートと同時に実施したため、都市計画に関する内容を抜粋して報告</p>
回収率等	<ul style="list-style-type: none">・ 配布数：3,000票・ 回収数：1,186票・ 回収率：39.5%

- ▶ 性別は女性の方が若干多い
- ▶ 年齢は60歳代以上で過半数となり、**70歳以上が約4割**
- ▶ 居住地域は**旧久万町が約6割**で他地域は1割程度

性別

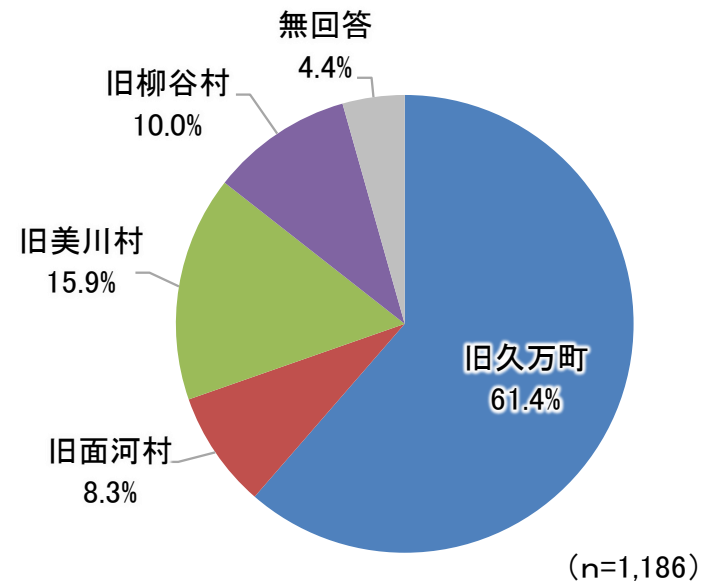


年齢



60歳代以上の割合：65.6%

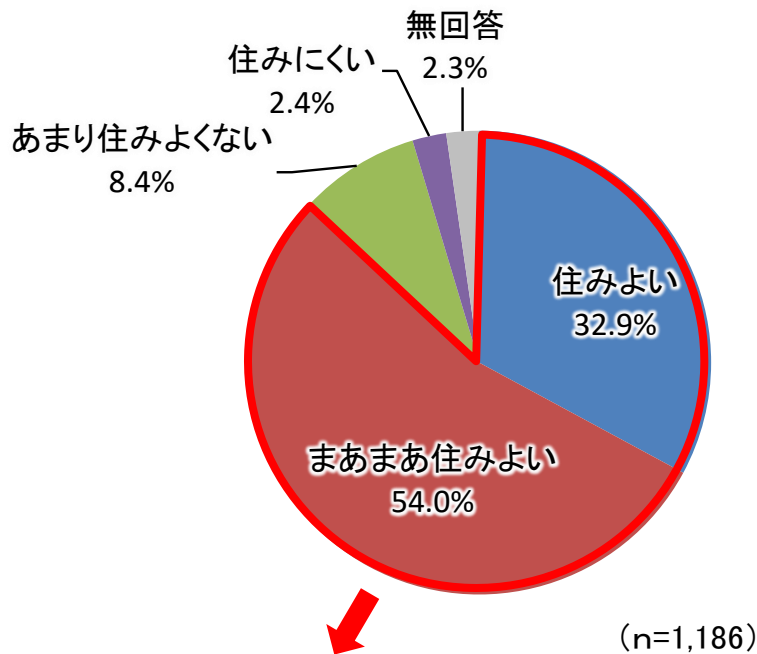
居住地域



▶ 町民の約9割が住みやすいと回答

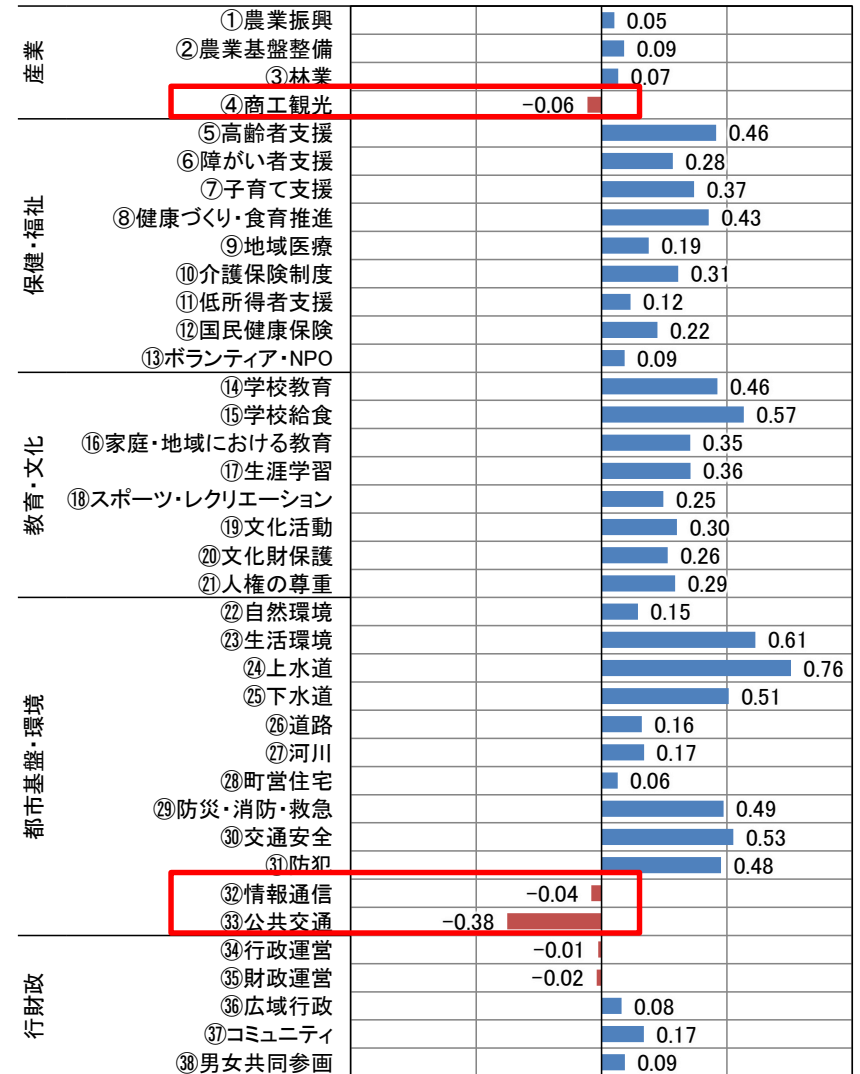
▶ 公共交通の利便性や商工観光、情報通信等で満足度が低い

町の住みやすさ



「住みよい」 + 「まあまあ住みよい」 : 86.9%

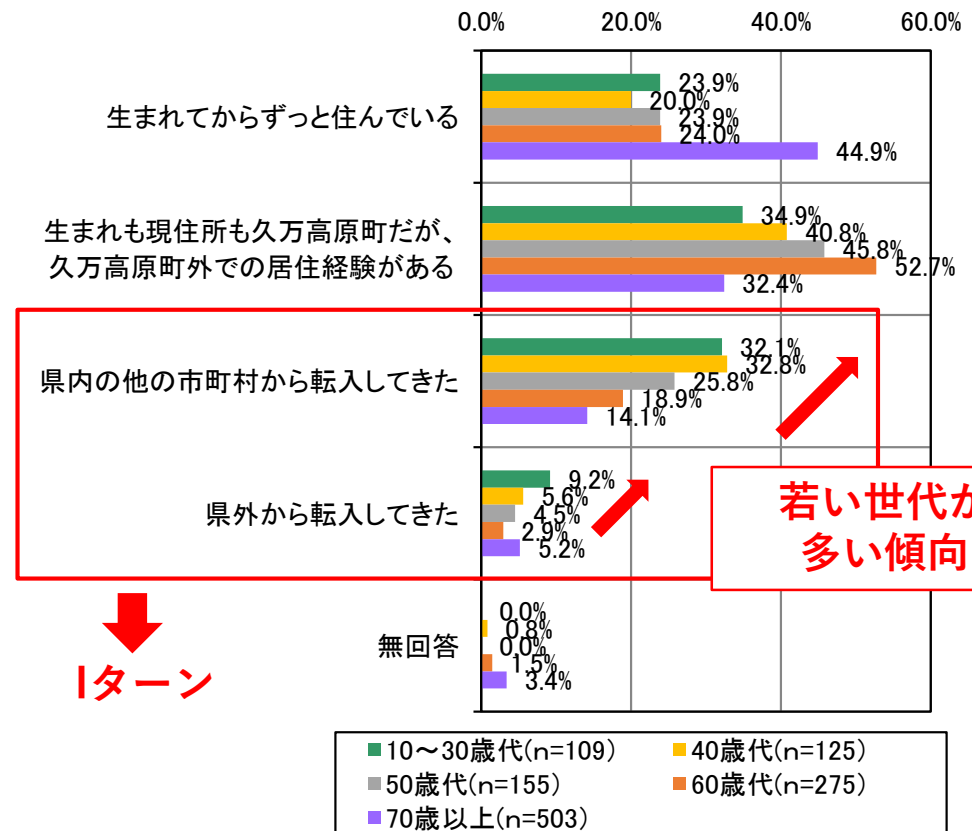
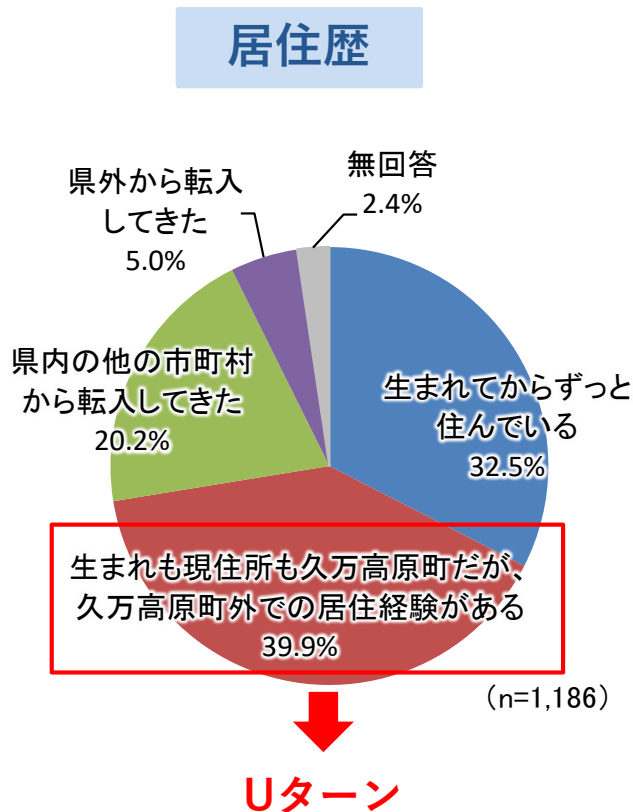
町の現状に対する満足度



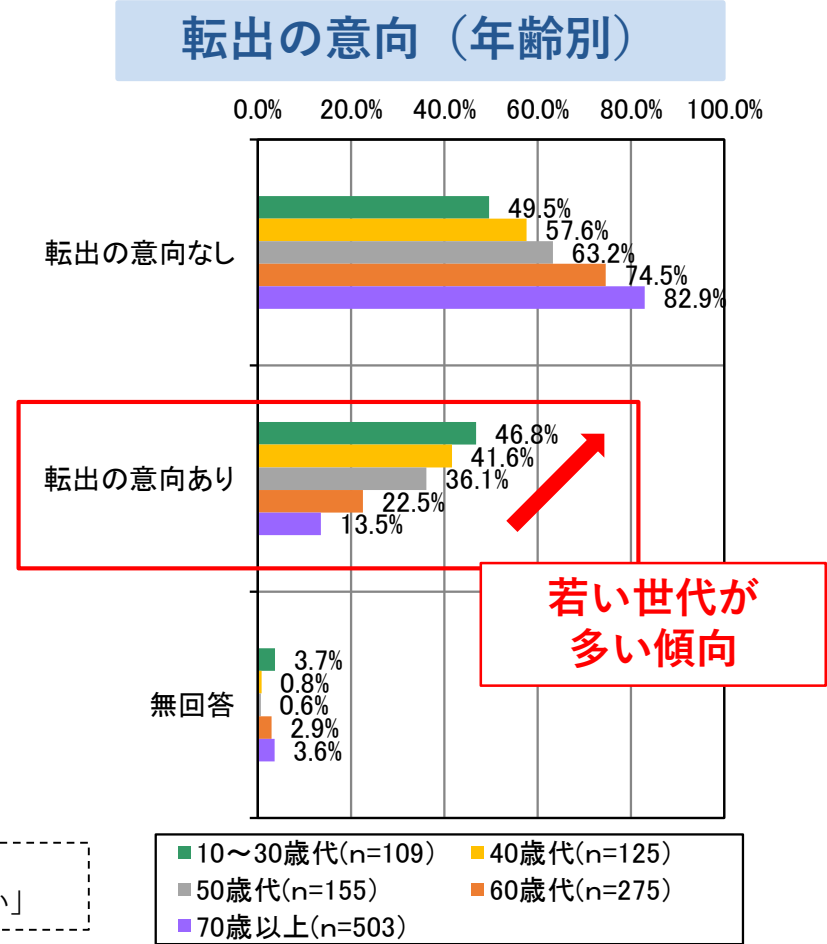
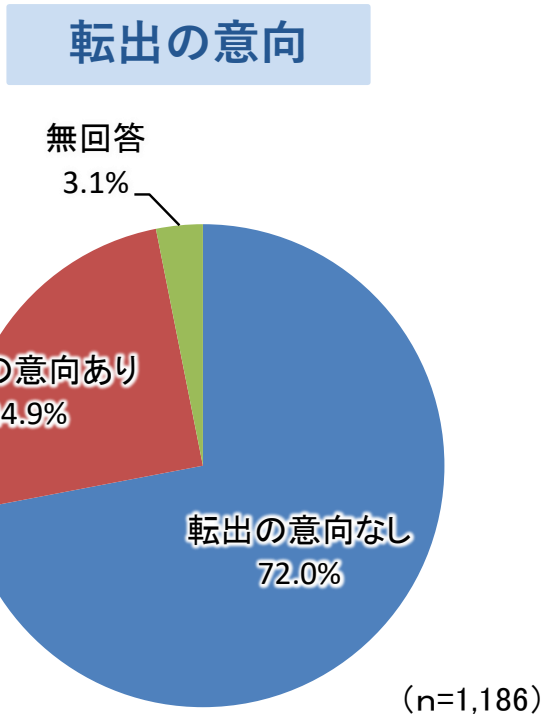
(n=1,186) ※満足度評価の点数化
満足=2点、やや満足=1点、どちらでもない=0点、やや不満=-1点、不満=-2点

- ▶ 居住歴は「生まれも現住所も久万高原町だが、久万高原町以外での居住経験がある」 (Uターン) が最も多い
- ▶ 若い世代は 「県内の他の市町村から転入してきた」 (Iターン) の割合が比較的多い

居住歴（年齢別）



- ▶ 居住の意向（久万高原に住み続けたいかどうか）については、**「転出の意向なし」が約7割**
- ▶ 一方で**「転出の意向あり」は若い世代になるほど多い**

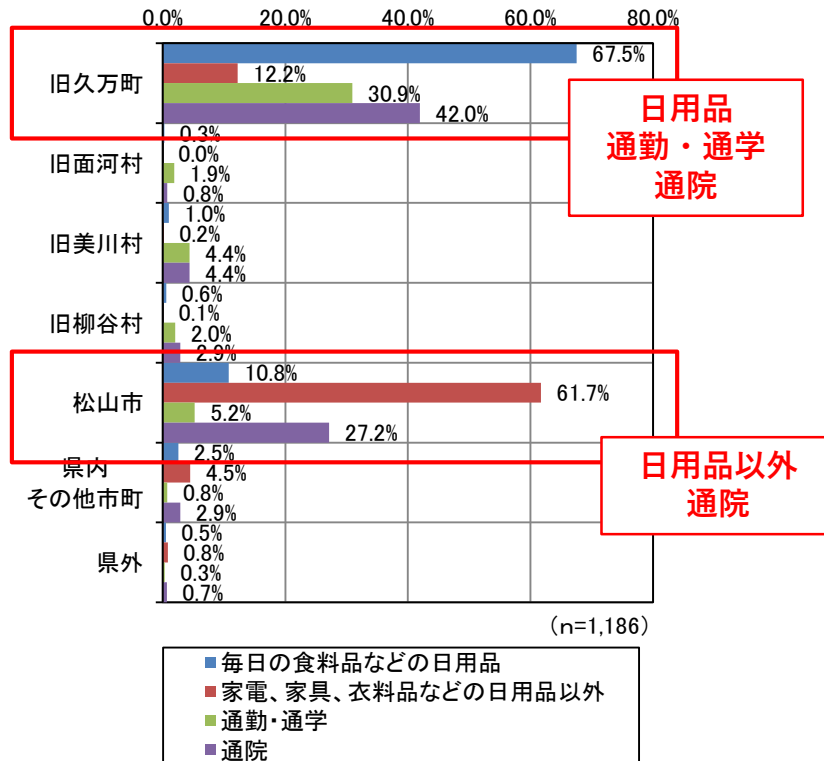


転出の意向なし…「住み続けたい」「町内で他の地域に移りたい」
 転出の意向あり…「町外に移りたい」「今は移る気はないが、将来的には移りたい」

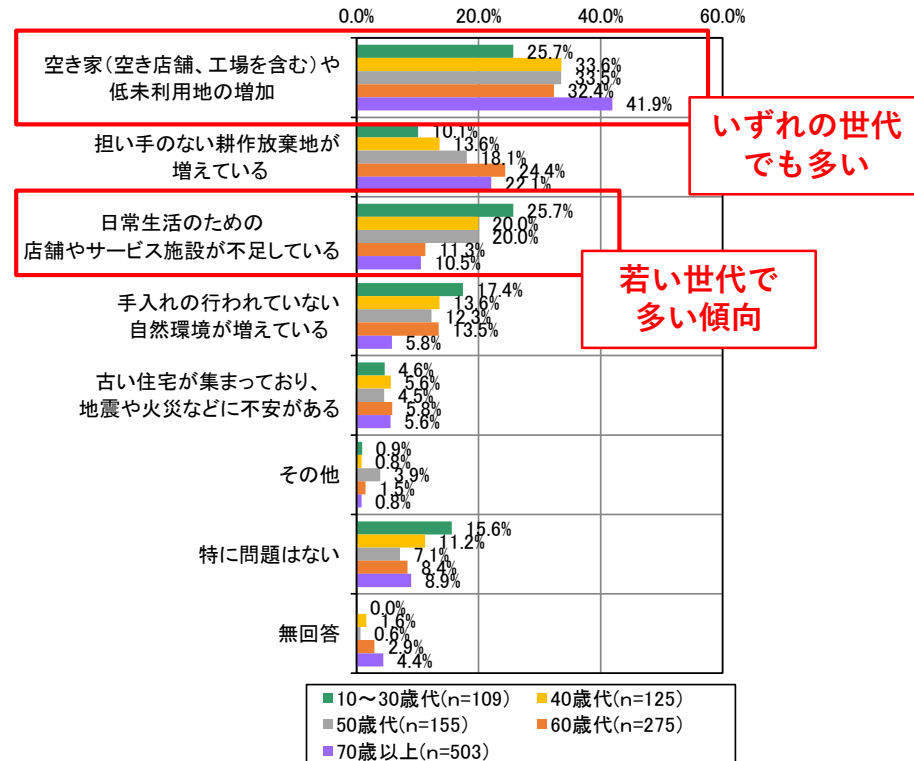
■ 10~30歳代(n=109) ■ 40歳代(n=125)
 ■ 50歳代(n=155) ■ 60歳代(n=275)
 ■ 70歳以上(n=503)

- ▶ 日用品の買い物、通勤・通学、通院は旧久万町が多い
- ▶ 土地利用上の課題は「空き家や低未利用地の増加」が最も多く、若い世代では「日常生活のための店舗やサービス施設の不足」の割合も多い

買い物や通勤・通学・通院の主な行き先

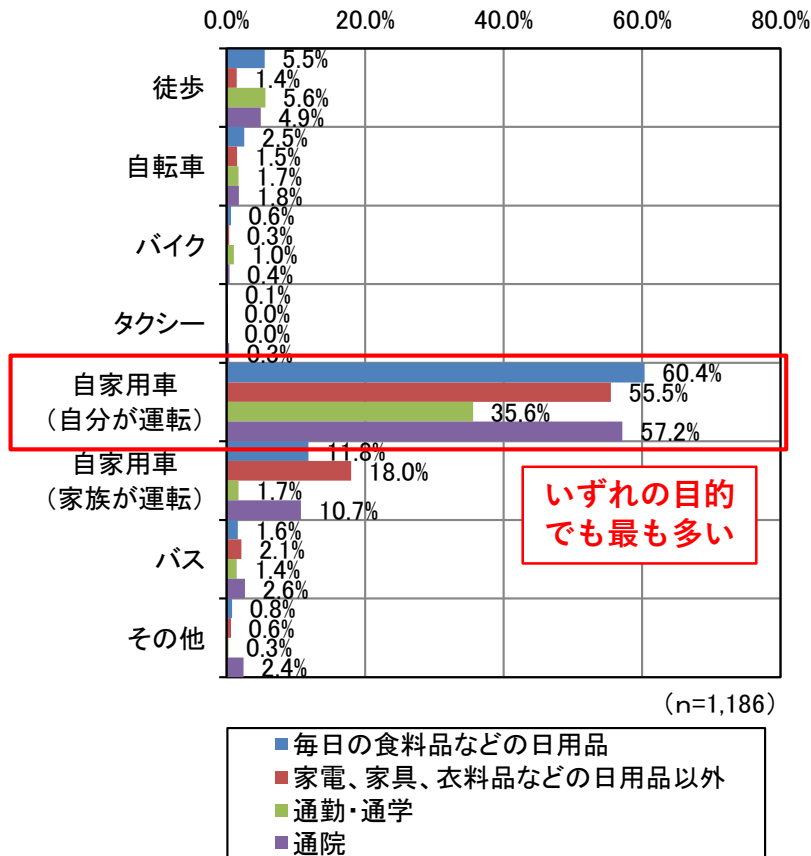


土地利用の問題（年齢別）

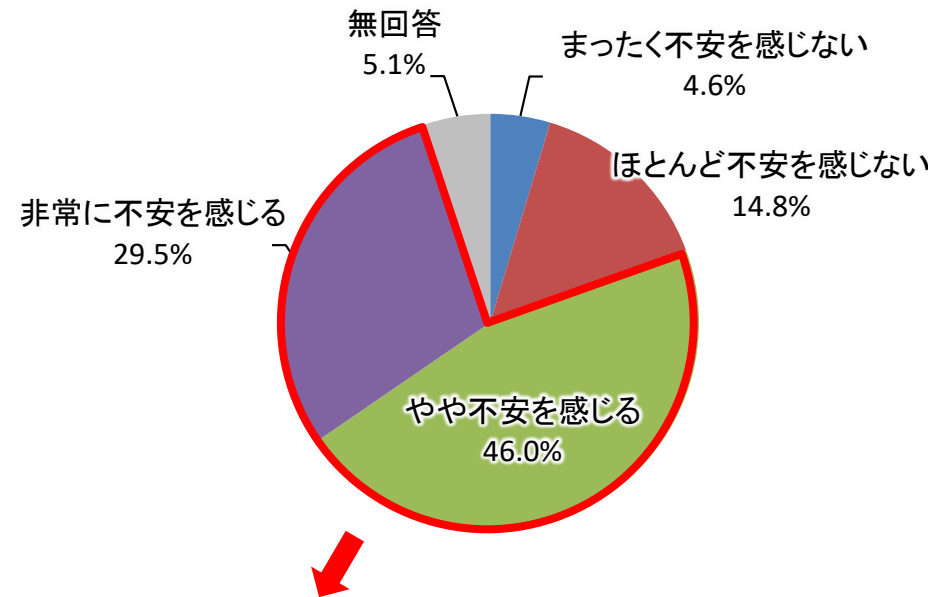


- ▶ 交通手段は自家用車（自分が運転）の割合が最も高い
- ▶ 10年後の日常生活での移動については約8割の方が不安に感じている

買い物や通勤・通学・通院の主な交通手段



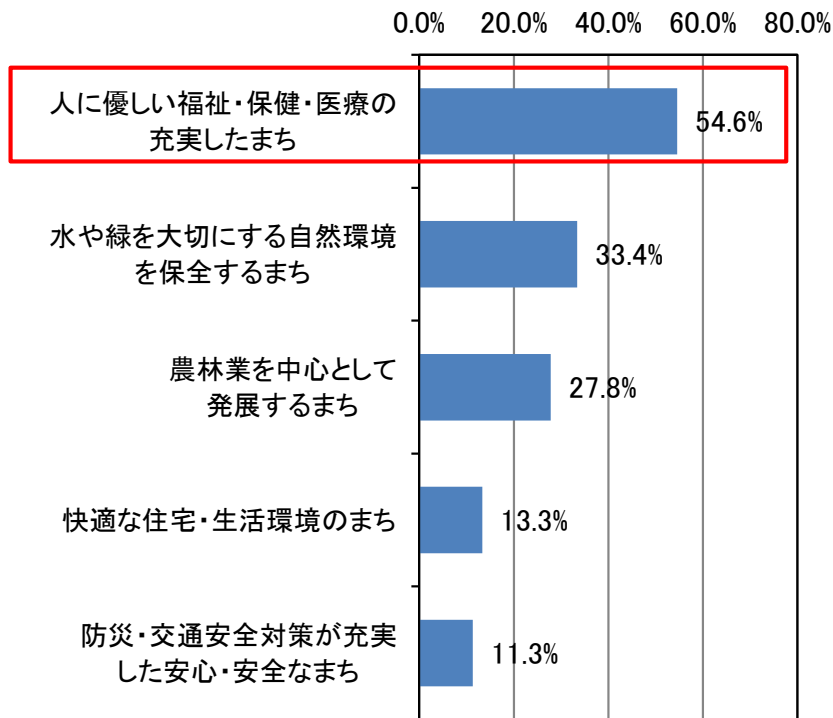
10年後の日常生活での移動の不安



「やや不安を感じる」 + 「非常に不安を感じる」 : 75.5%

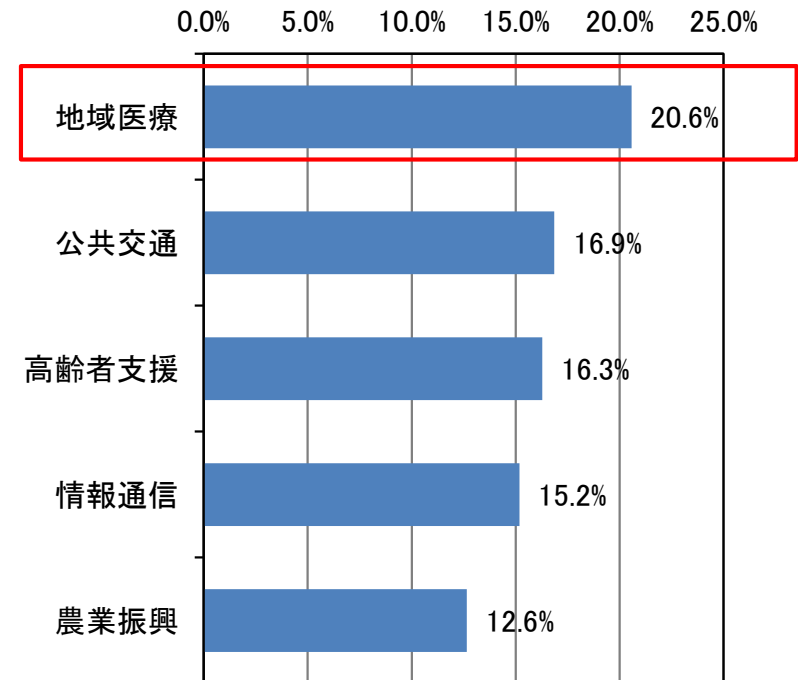
- ▶ 目指すべきまちの目標は「人に優しい福祉・保健・医療の充実したまち」が比較的多く挙げられている
- ▶ 今後優先すべき施策は「地域医療」が最も多い

目指すべきまちの目標



(n=1,186)

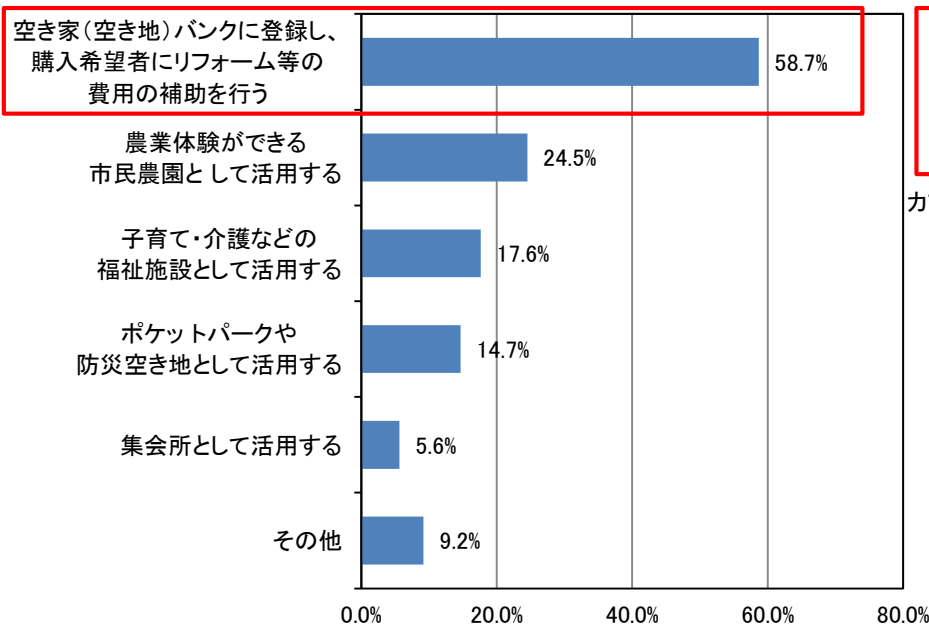
今後優先すべき施策



(n=1,186)

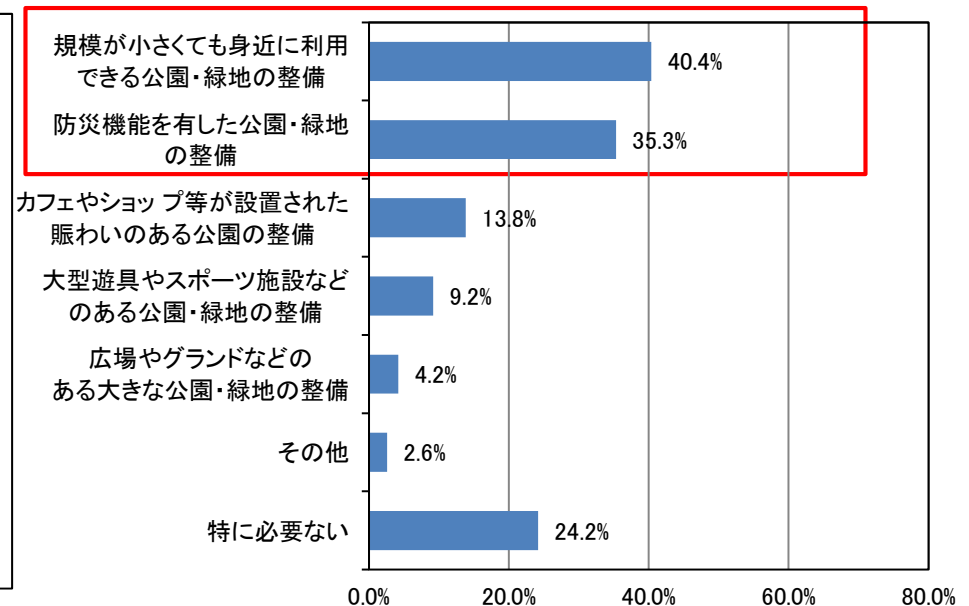
- ▶ 空き地及び低未利用地の活用は 空き家（空き地）バンクの利用や購入希望者へのリフォーム等の補助が挙げられている
- ▶ 公園・緑地整備については 身近に利用できることや防災機能を有した整備が望まれている

空き家及び低未利用地の活用



(n=1,186)

公園・緑地整備に必要な取組

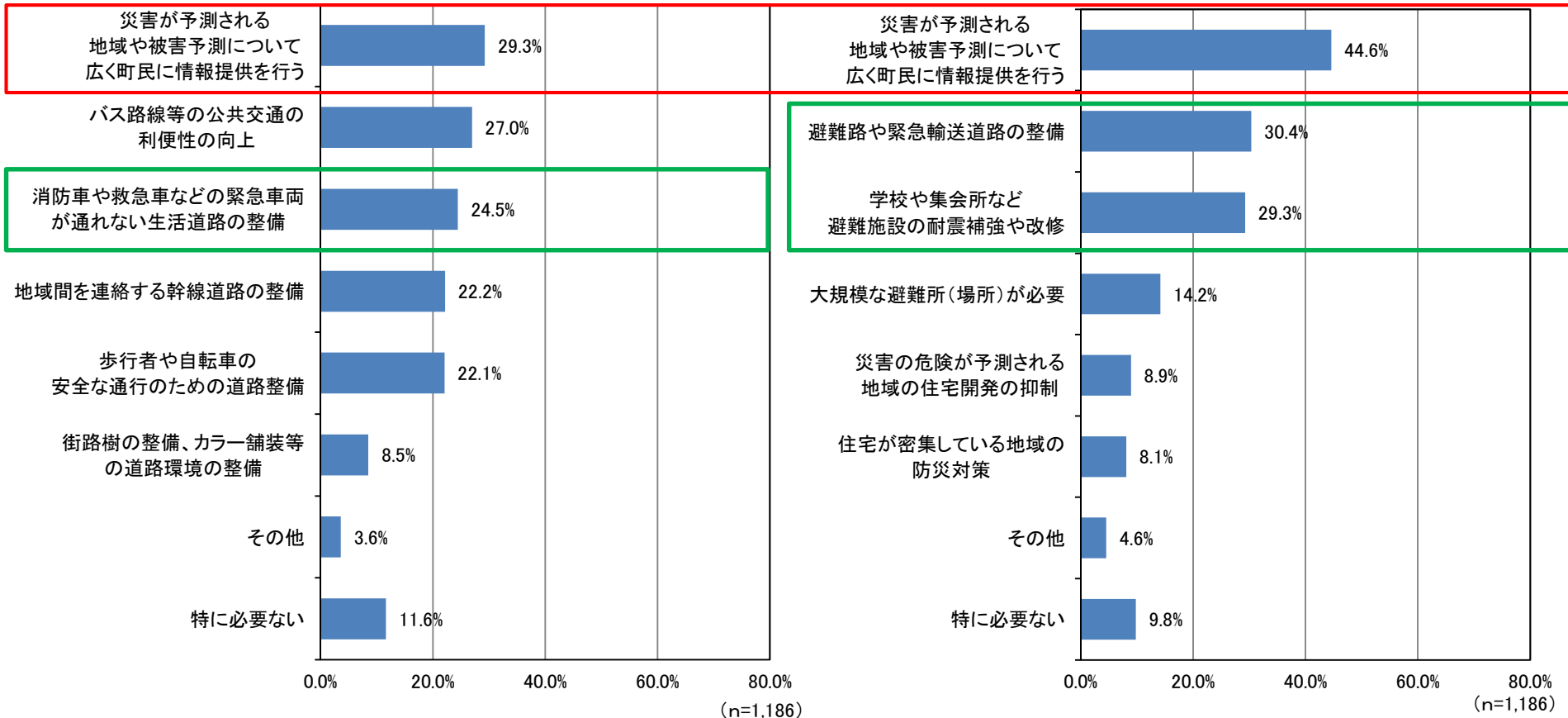


(n=1,186)

▶ **道路整備・防災・減災対策ともに災害が予測される地域や被害予測に関する情報周知（ソフト対策）及び防災の観点からのハード整備が上位を占めている。**

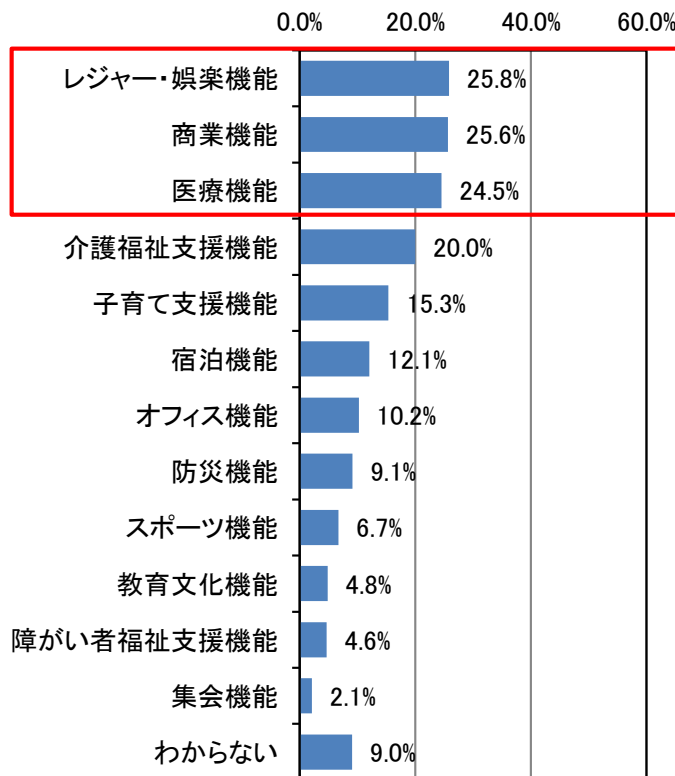
道路整備に必要な取組

防災・減災対策の取組



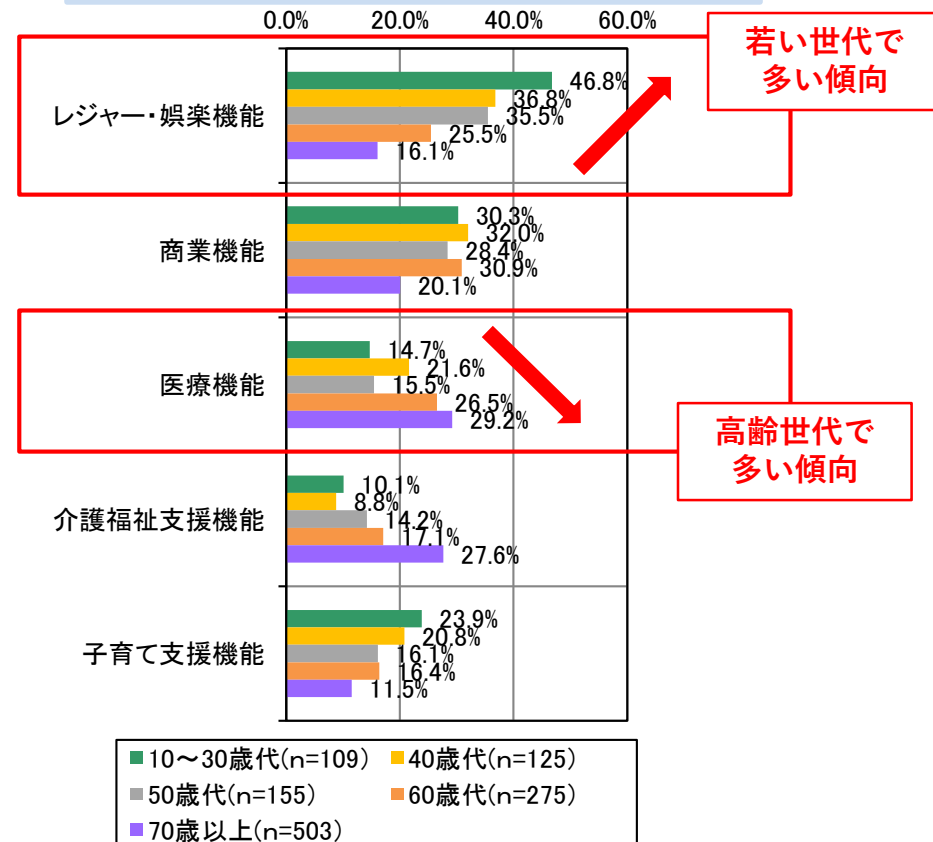
- ▶ 今後必要な施設は「**レジャー・娯楽機能**」や「**商業施設**」、**「医療機能」**が挙げられている
- ▶ 「**レジャー・娯楽機能**」は若い世代、「**医療機能**」は高齢世代で割合が特に多い

将来必要な施設



(n=1,186)

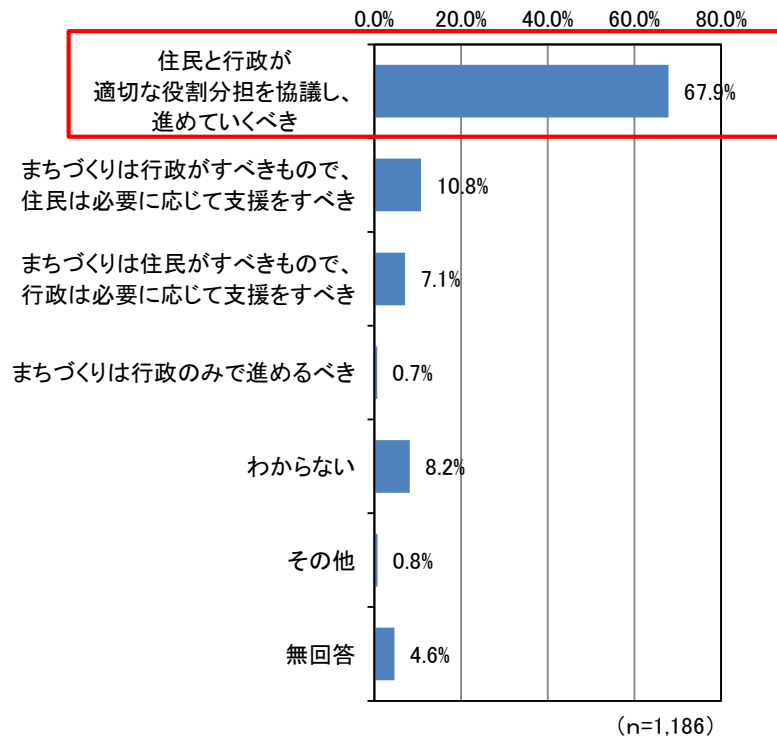
将来必要な施設（年齢別）



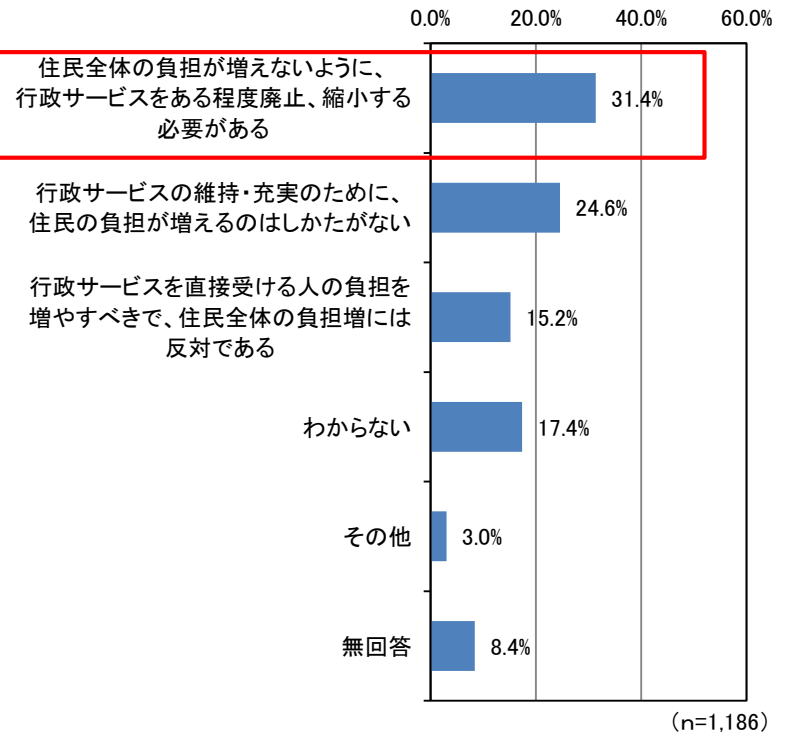
■ 10～30歳代(n=109) ■ 40歳代(n=125)
 ■ 50歳代(n=155) ■ 60歳代(n=275)
 ■ 70歳以上(n=503)

- ▶ これからのまちづくりは「住民と行政が適切な役割分担を協議し、進めていくべき」という回答が約7割
- ▶ 今後も行政運営を継続していくために、行政サービスのある程度廃止・縮小する必要があるという意見が多い

行政と住民の役割分担の必要項目



行政サービスと住民負担のあり方

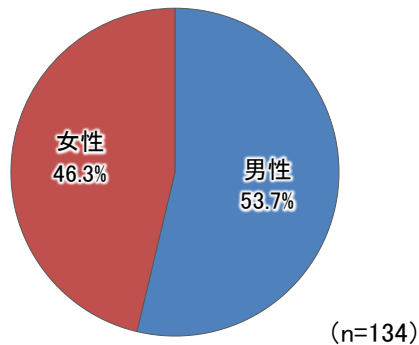


▶ 高校生アンケート調査の概要は以下のとおり

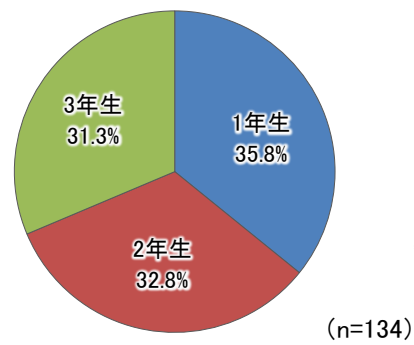
調査目的	20年後のまちづくりにおいて中心的な存在となる高校生が考える将来のまちの姿や理想像等を把握する
調査対象	愛媛県立上浮穴高等学校に通学する全生徒（136人）
調査方法	総合学習の時間を活用し、教員を通して配布・回収
調査期間	令和2年10月15日（木）
設問	<ul style="list-style-type: none">・ 基本属性（問1～問3）・ 卒業後の進路や将来住みたい地域について（問4～問7）・ 久万高原町について（問8～11）・ 自由意見（問12～13）
回収率等	<ul style="list-style-type: none">・ 配布数：136票・ 回収数：134票・ 回収率：98.5%

- ▶ 性別は男性が若干多い
- ▶ 学年による大きな偏りはない
- ▶ 旧久万町に住んでいる生徒が最も多いが、町外（県内・県外）から通う生徒も多い
- ▶ 森林環境科の生徒は約4割

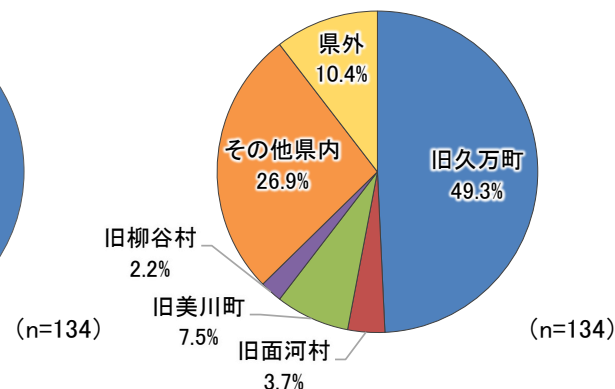
性別



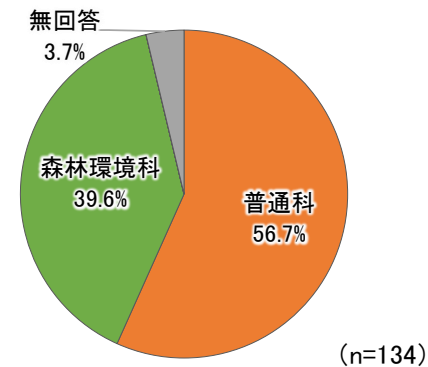
学年



居住地域

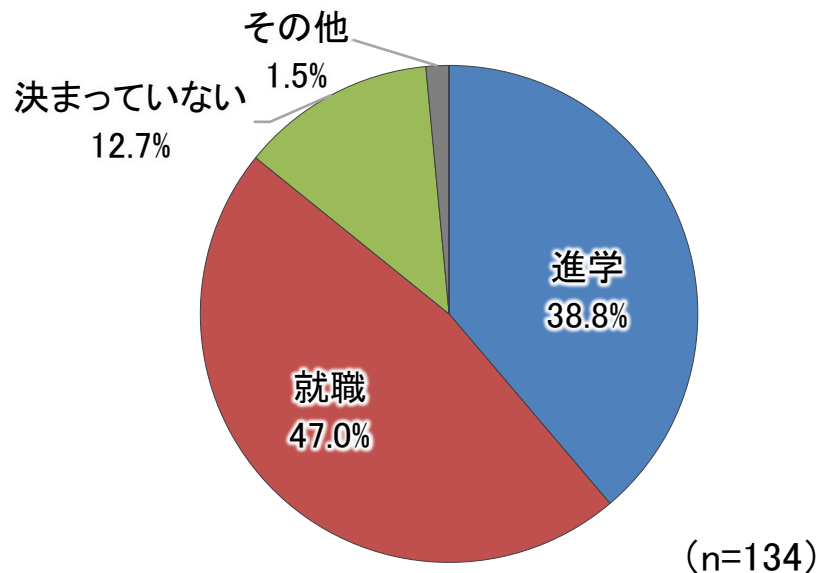


学科

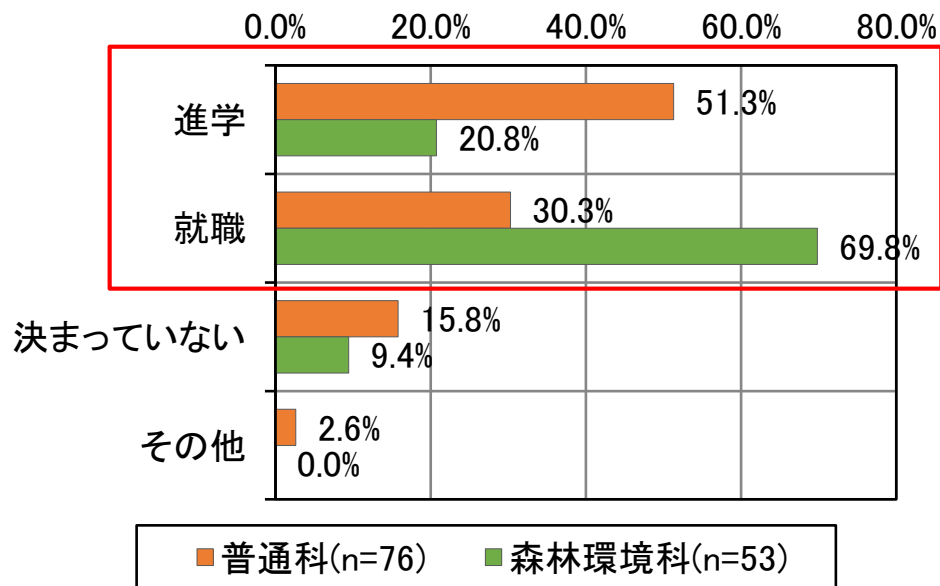


- ▶ 卒業後の進路は「進学」と「就職」とともに概ね同程度となっている
- ▶ 学科別で見ると普通科の生徒は「進学」、森林環境科の生徒は「就職」と回答している割合が多い

高校卒業後の進路

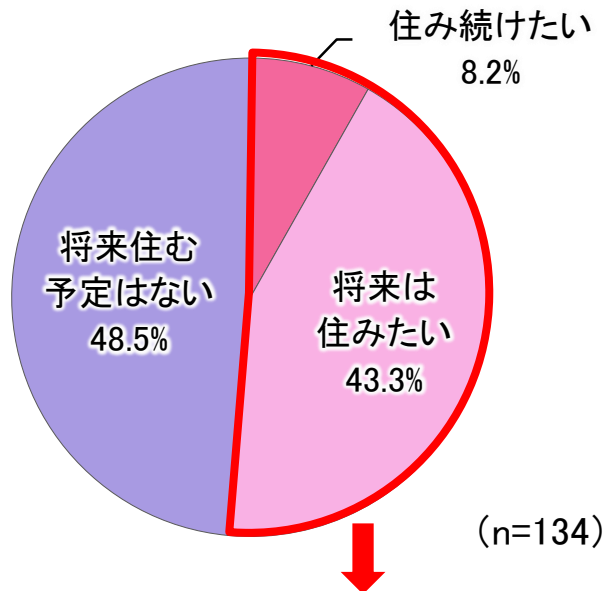


高校卒業後の進路（学科別）



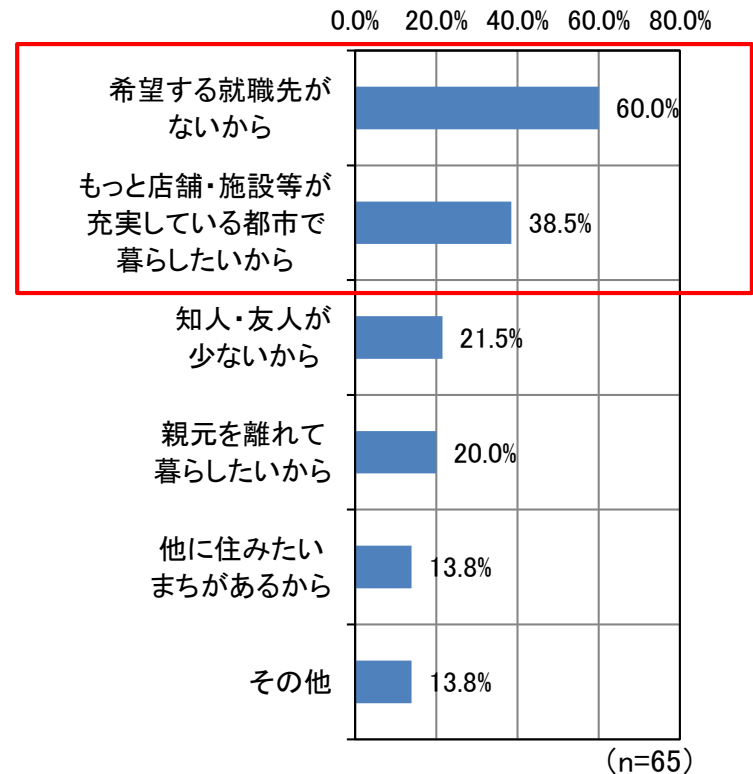
- ▶ 将来の居住意向について、生徒の約5割が久万高原町に住みたいと回答
- ▶ 将来住む予定はない理由は「希望する就職先がないから」、「もっと店舗・施設等が充実している都市で暮らしたいから」など

将来の居住意向



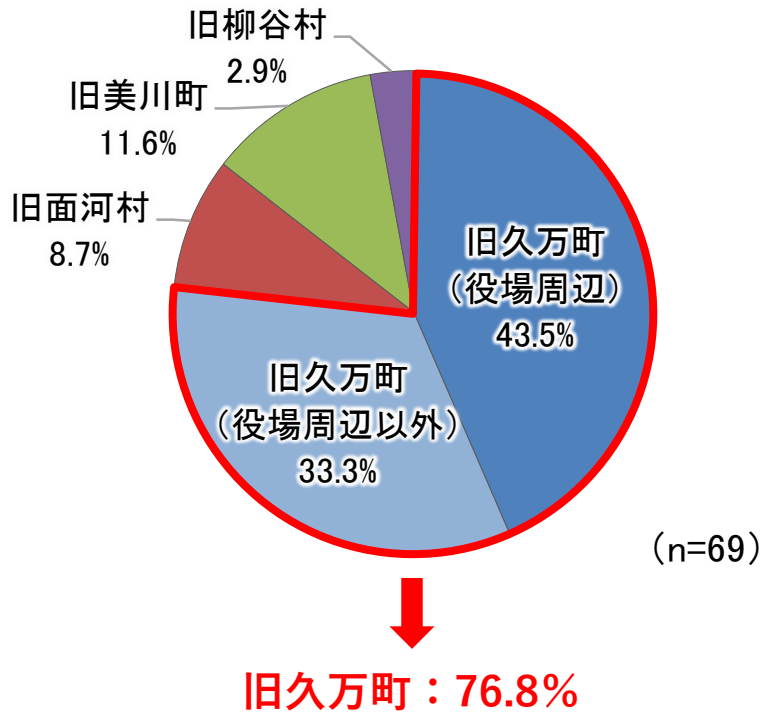
「住み続けたい」 + 「将来は住みたい」 : 51.5%

将来住む予定はない理由

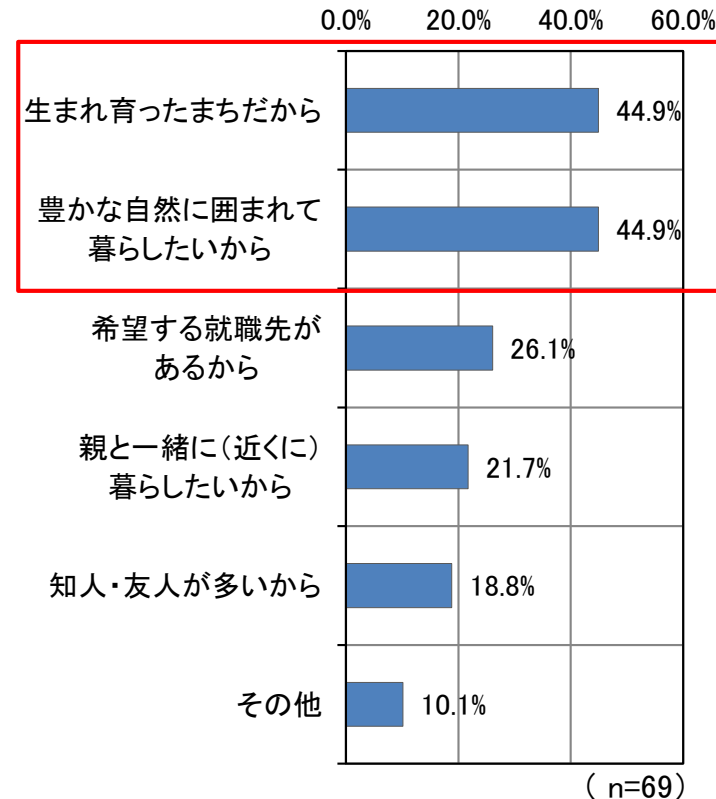


- ▶ 久万高原町に住みたいと回答した生徒について、住みたい場所は「旧久万町」が約8割
- ▶ 将来住みたい理由は「生まれ育ったまちだから」、「豊かな自然に囲まれて暮らしたいから」など

将来住みたい場所

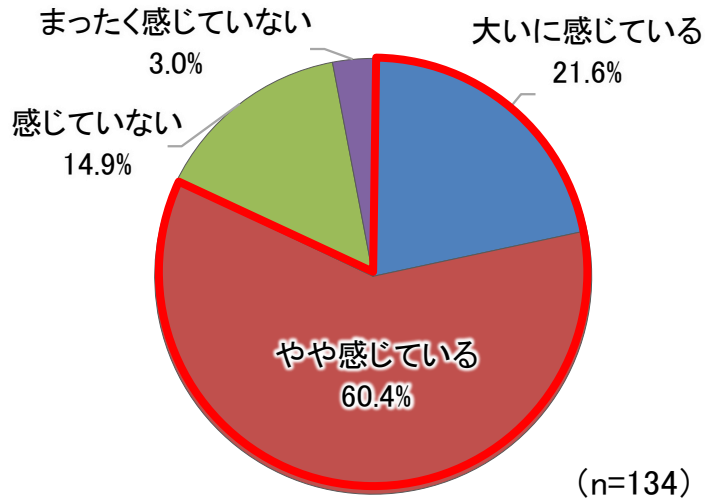


将来住みたい理由

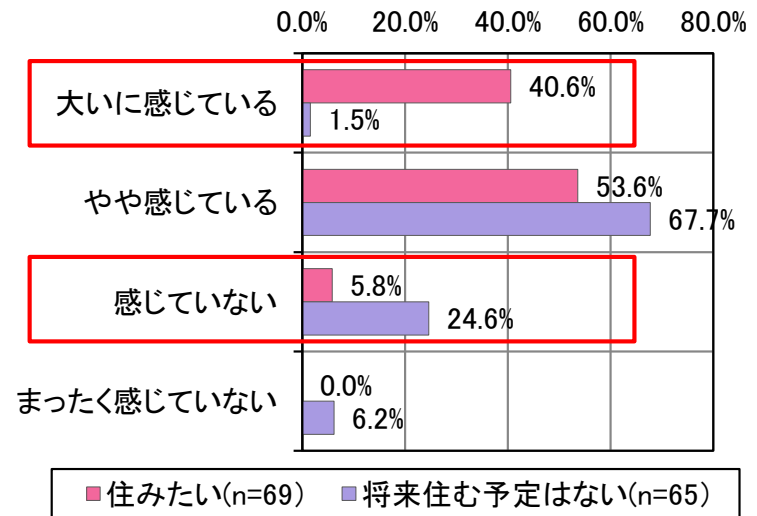


- ▶ 生徒の約8割が久万高原町に愛着があると回答
- ▶ 久万高原町に住みたいと回答している生徒は「愛着を大いに感じている」、将来住む予定はないと回答している生徒は「愛着を感じていない」の割合が多い

住まいの愛着の有無



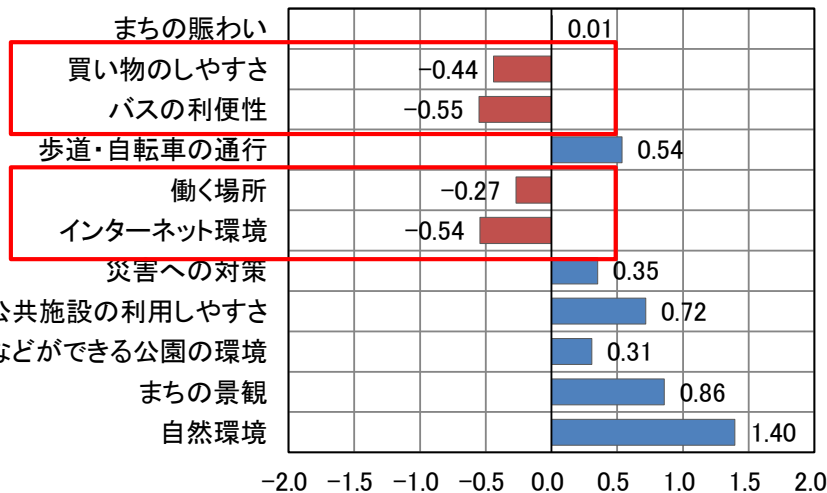
住まいの愛着の有無（居住意向別）



「大いに感じている」 + 「やや感じている」 : 82.0%

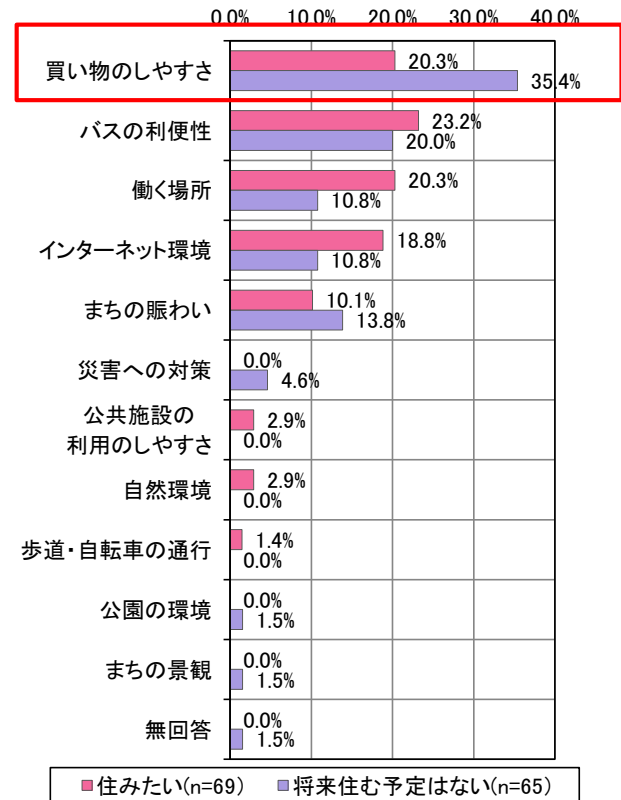
- ▶ 町の現状では「バスの利便性」「インターネット環境」「買い物のしやすさ」等で満足度が低い
- ▶ 特に課題である項目は、「将来住む予定はない」と回答している生徒は「買い物のしやすさ」の割合が多い

町の現状に対する満足度



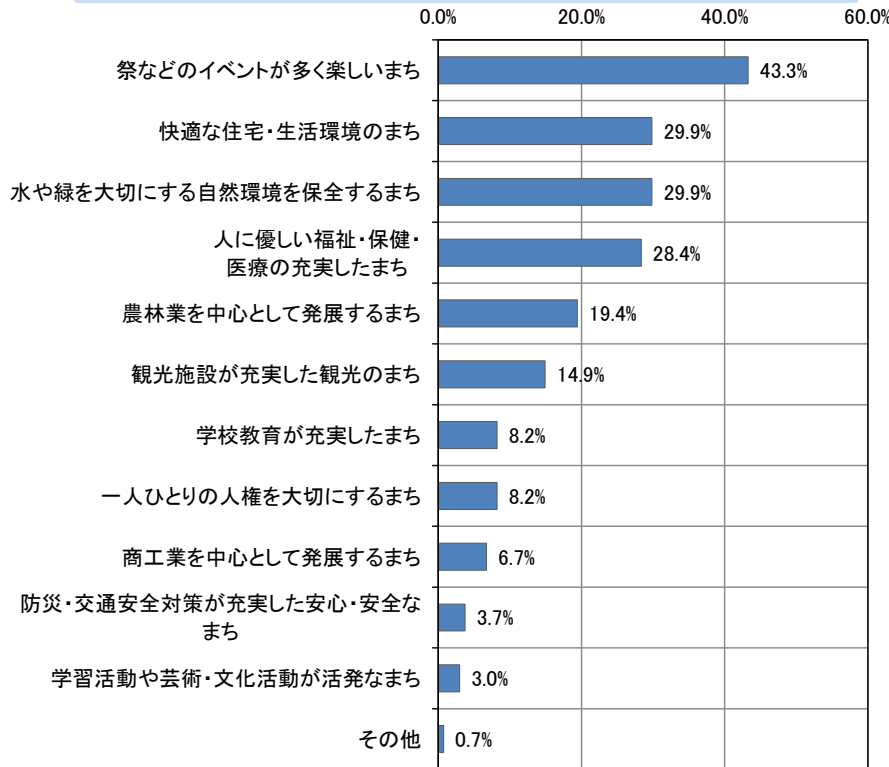
※満足度評価の点数化
 満足=2点、やや満足=1点、どちらでもない=0点、やや不満=-1点、不満=-2点

特に課題である項目（居留意向別）



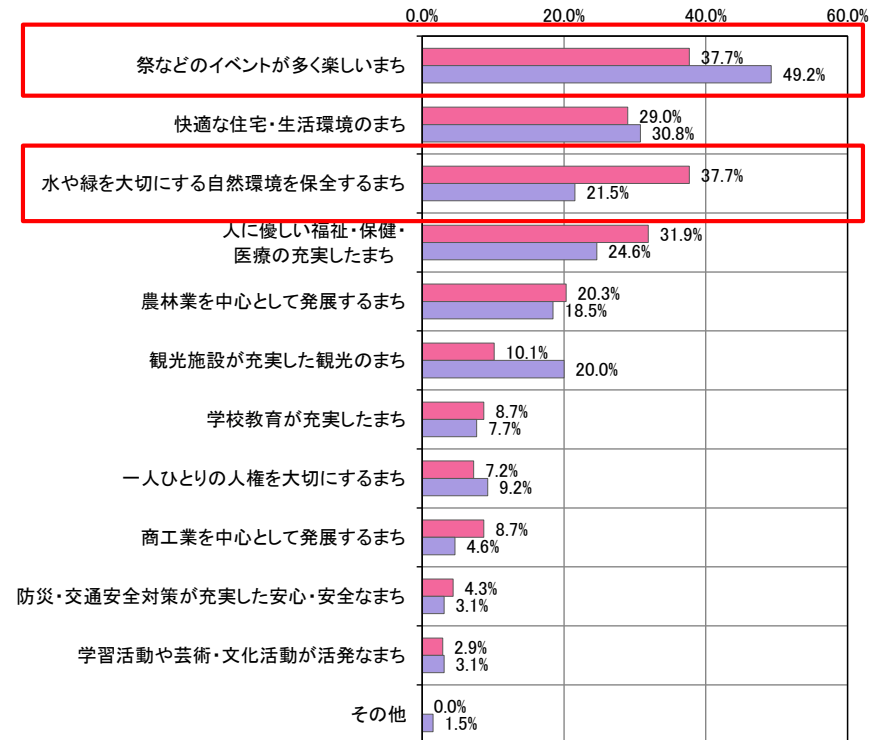
▶ 久万高原町に住みたいと回答している生徒は「水や緑を大切に自然環境を保全するまち」、将来住む予定はないと回答している生徒は「祭りなどのイベントが多く楽しいまち」の割合が比較的多い

まちの将来像



(n=263)

まちの将来像（居住意向別）



■住みたい(n=69)

■将来住む予定はない(n=65)